

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月20日		記入者		連絡先 750-8030
部 名	生涯学習部	課 名	博物館	課長名	井上 進
事務事業名	1 資料調査研究事業				
予算上の事務事業名	資料調査研究事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15110	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				平成7年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	博物館法・市立博物館条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	調査・研究 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)
地域に係る様々な資料を調査研究し、展示教育普及等への活用を図る。					市民
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別調査研究経費 <ul style="list-style-type: none"> ・考古 (市域及び周辺地域の考古資料に関する調査) ・歴史 (歴史資料調査) ・民俗 (民俗資料調査、境川流域調査) ・地理 (貝塚地図の分析調査) ・地質 (火山灰資料調査、相模川流域地質調査) ・動物 (湿岩昆虫調査・境川・相模川水生動物調査など) ・植物 (希少植物保護調査・市内植物分布調査) ・天文 (変光星調査、天文資料調査) 				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	3,789	3,408	3,912	2,963	3,000
一般財源	3,789	3,408	3,912	2,963	3,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	88,110	88,770	88,550	88,550	88,550
事業コスト合計	91,899	92,178	92,462	91,513	91,550
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	講座			対象名称 と単位	市民1人当たりの経費
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	91,899	92,148	92,462	91,513	91,550
対象数	616,355	620,599	628,804	675,000	675,000
単位あたり経費(円)	149	148	147	136	136
前年度比		1.00	0.99	0.92	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	講座や教室実施状況	指標式と指標の説明	講座・教室÷目標講座等数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	17.0	18.0	19.0		
目標	18.0	18.0	18.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	94.4	100.0	105.6		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	市民1人当りの博物館利用率	指標式と指標の説明	博物館入館者総数÷人口		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	126120.0	111610.0	116552.0		
目標	616355.0	620599.0	628804.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	20.5	18.0	18.5		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		平成13年度から継続していた町田市博との共同調査「境川流域民俗調査」が終了し報告書が刊行された。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
近隣との共同調査を進める際に県及び都の関連課との連携もたれた。			町田市との共同調査は、当初、考古、歴史、自然分野でも検討されたが民俗だけが最後に残った。考古歴史分野の必要性は残っている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		関連機関との連携を図りながら調査・研究を行い、展示に反映させること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			